



自動資金管理ツール AutoOrderModifyEA Pro とは

AutoOrderModifyEAPro は「購入した EA」など、ソースコードが公開されていない EA の制御を可能にしたツールです。

「購入した EA を稼働させているがストップの設定が無い」とか、「トレーリング・ストップの設定が無い」場合などで、その EA に損切り設定やトレーリングストップ機能を適用して使う場合に特に有効です。

さらに同梱の OneClickMagicTrader という「マジックナンバーという EA のポジションを管理する番号」を付加して発注するツールを併用することで裁量トレードでも「通貨ペア毎」や「手法毎」など、任意のパターンを作って登録することで自由な設定が可能になります。

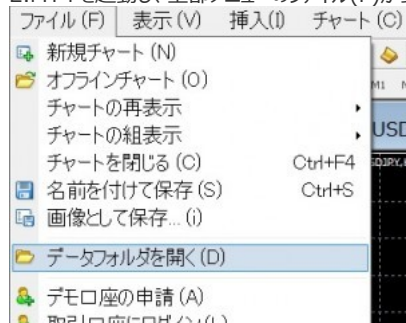
AutoOrderModifyPro は以下のような機能・特徴があります。

- 自動で損切り(StopLoss)や利食い(TakeProfit)を入れます
- 自動でトレーリング・ストップを実行します
- 自動でブレイクイーブン注文を実行します
- 上記機能はすべて使用／不使用の切り替えができます
- 複数の EA の制御が可能です
- 裁量トレードの制御も可能です
- 複数ポジションを合算して損切りやトレーリング・ストップを実行する
- 証拠金から自動でストップロスとテイクプロフィットを設定します（Ver1.07 より）
- 複数ポジションの損益を平均して損切りやトレーリング・ストップを実行する（Ver1.10 より）
- 損失が大きくなった際に一時的な戻りを利用して、損切りする（Ver1.18 より）
- 発注時に EA が設定した StopLoss と TakeProfit を変更できます（パラメーターで変更できない EA に対して SL/TP を変更できます）
- 直近の高値や安値を StopLoss や TakeProfit として自動設定できます。

AutoOrderModifyEA Pro のインストール

1.購入サイトからダウンロードしたファイル（zip 圧縮ファイル）を解凍し、AutoOrderModifyEAPro.ex4 をコピーします。（まだ貼り付けしません）

2.MT4 を起動し、上部メニューのファイル(F)からデータフォルダを開くをクリックします。



3.開いたフォルダ（エクスプローラー）から MQL4→Experts の順に開き、2.でコピーした AutoOrderModifyEAPro.ex4 を貼り付け（ペースト）します。

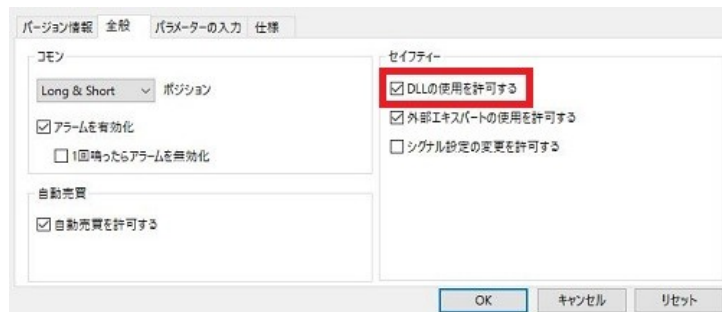
4.MT4 を再起動するか、ナビゲーターウィンドウのエクスパートアドバイザー上で右クリック→更新するとナビゲーターウィンドウに AutoOrderModifyEAPro が表示されます。



以下はリアル口座で使用する場合のみ設定が必要になります。（デモ口座の場合、設定する必要はありません）

5.AutoOrderModifyEAPro をチャートに設置し、全般タブの DLL の使用を許可するにチェックを入れます。

また、自動売買を許可するにもチェックを入れます。



6.パラメーターの MailAddress に購入時のメールアドレスと OrderNumber に注文番号を入力して OK ボタンを押してください。入力情報に誤りがある場合「License error. Please check your license.」と表示されます。パラメーターをよくご確認ください。

「注文番号」がご不明の場合には次ページの「よくある質問」の「注文番号がわかりません」を御覧ください。

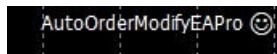
※ご注意※

当サイト（直運営ショップ）にてカード決済時に付与される「決済番号（数字のみ）」とは異なります。アルファベットと数字の組み合わせになっている「注文番号」をご入力ください。

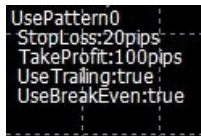
なお、ご登録いただけるライセンス（口座番号）は5つまでです。不要なライセンスを削除したい場合には別紙「ライセンス削除説明書.pdf」を御覧ください。

AutoOrderModifyEA Pro の動作確認

以下のようにチャート右上に AutoOrderModifyEAPro の文字と笑顔が表示されておりますと動作しております。



また、チャート左上には設定した主なパラメーターが表示されます。



主なエラーメッセージ

「License error. Please check your license.」

ライセンスエラーです。ライセンス情報 (MailAddress、OrderNumber) をご確認ください。

「Please check Allow live trading.」

自動売買が許可されていません。「自動売買ボタンが ON」になっているか、パラメーター画面の全般タブにある「自動売買を許可する」にチェックがついているかご確認ください。

「There is no target pattern.」

適用されるパターンがありません。いずれかの UsePattern に true が設定され、そのパターンにマジックナンバー (MagicList) が設定されている必要がございます。

パラメーターの詳細は「AutoOrderModifyEAPro の設定(5 ページ)」を御覧ください。

問題が解決されない場合には次ページの「よくある質問」も御覧ください。

それでも解決されない場合には下記のメールアドレスか、お問合せフォームにてお問い合わせ願います。

メールアドレス : tradeandsoftware@gmail.com

※サポートメールアドレス support@tasfx.net が「届かない」という事象が頻発しておりますのでサポートメールアドレスを Gmail に変更しております。

当方からの返信メールが届かない場合には「迷惑メール」に届いている可能性がありますので、お手数ですがそちらもご確認ください。

お問い合わせフォーム : [FX 研究日記別館-ショップ お問い合わせ](https://tasfx.net/shop/?page_id=81)

https://tasfx.net/shop/?page_id=81

よくある質問

Q.注文番号がわかりません。

A.ご購入ショップによって異なります。

(1) 当ショップ(直運営ショップ: FX 研究日記別館) の場合

当ショップ (<https://tasfx.net/shop>) の右上にある「ログイン」からご購入時にご登録されたメールアドレスとパスワードで「ログイン」していただきますと「マイページ」に遷移いたします。

「マイページ」ではご購入商品の一覧が表示され、その左側に「注文番号」が表示されます。

注文番号	購入日	購入金額	特別割引	使用ポイント	送料	代引き手数料	獲得ポイント
XXXXXXXXXX	2019年7月18日	¥0	¥0	4,900	¥0	¥0	0
請求書 PDF 領収書 PDF							
No.		商品	単価	数量	金額		
1		GridOrderCSV 最新版をダウンロード(v1.00)	¥4,900	1	¥4,900		

(2) ゴゴジャン(GogoJungle)でご購入の場合

最初に「ライセンス登録」でライセンス登録する必要があります。ご登録方法につきましては同梱の「ライセンス登録説明書.pdf」を御覧ください。

Q.MT4 を複数起動した場合、AutoOrderModifyEA Pro もそれぞれの MT4 で起動する必要がありますか？

A.いいえ。口座が同一であれば AutoOrderModifyEA Pro は「いずれか1つ」に設置するだけで機能します。口座が異なる場合には口座毎に設置して下さい。

Q.MT4 の EA を停止しても設定は生きていますでしょうか？

A.既にポジションを持っていて SL/TP が AutoOrderModifyEA Pro で変更された後でしたら、その注文は残ります。トレイリングやブレイクイーブン は停止直後から停止します。また、停止してから発注したポジションの SL/TP は設定されません。

Q.裁量トレードでポジションを持った際に SL を指定した場合も、トレイリングやブレイクイーブンは機能しますか？

A.はい。裁量で SL を指定した場合もトレイリング・ストップやブレイクイーブン機能が動きます。

Q.自宅の PC では問題なく認証できたが、VPS で動かそうとすると「Error in webrequest. Error code = 0」というエラーが表示されます。

A.セキュリティ設定によって通信が制限されているようです。

下記のサイトを参考に IE ECS の管理者のセキュリティ強化構成を OFF にしてみてください。

<http://www.atmarkit.co.jp/ait/articles/0808/01/news144.html>

認証し、設定を適用した後はセキュリティ強化構成を ON に戻していただいても問題ないと思います。

(ただし、MT4 を再起動した場合には再度認証しますのでセキュリティ強化構成を OFF にして再認証する必要があります)

※セキュリティ強化構成を変更した後、MT4 の再起動をしてから AutoOrderModifyEAPro を再設置してみてください。

(VPS の再起動が必要になる場合もあるようです。私は不要でしたが、一部のお客様では再起動する必要があったというご報告がありました。)

AutoOrderModifyEAPro の設定

ナビゲーターウィンドウに表示されている AutoOrderModifyEAPro を任意のチャートにドラッグ & ドロップします。

全般タブ：「自動売買を許可する」にチェックを入れてください。（リアル口座で使用する場合には DLL の使用を許可するにもチェックを入れてください。）

パラメータータブ：以下の説明に従って必要な設定をしてください。

各パラメーター説明

設定パターンを定義し、パターンを適用する EA（マジックナンバー）を指定します。

パターンは 10 通りまで登録できます。（0～9 パターン）

License（ライセンス）

MailAddress：購入時のメールアドレスを設定します。

OrderNumber：購入時の注文番号を設定します。

Settings（各種設定）

ParePrefix：自動ストップロス計算に使用する通貨ペア設定です。通貨ペアの頭に' (シングルクォート) といった文字が付加されてる場合にはここに、頭文字を入力してください。※通貨ペア名の頭に文字が付加されていない場合には空欄にしてください（通貨ペア名そのものは不要です）

例：'EURUSD → '

PareSuffix：自動ストップロス計算に使用する通貨ペア設定です。通貨ペアの末尾に、(ピリオド) や Pro といった文字が付加されてる場合にはここに、末尾の文字を入力してください。※通貨ペア名の頭や末尾に文字が付加されていない場合には空欄にしてください（通貨ペア名そのものは不要です）

例：EURUSDpro → pro

Slippage：決済発注時許容するスリッページです。（ECN アカウントでは、この値を指定しても効果が無いようです）

UsePattern：true にすると「パターン」を有効にします。false にすると無効です。

MagicList(Max)：適用するマジックナンバーを入力します。カンマ区切りで最大 10 個まで登録できます。（入力例 123456,77777,42515）

※裁量トレードを対象にする場合には 0 を入力してください。

UseSummary：複数ポジションを合算する場合には true、個別管理する場合には false を指定します。

UseAverage：複数ポジションを平均化する場合に true、個別管理する場合に false を指定します。なお、UseSummary と UseAverage は同時に使用することはできません。（両方 true にした場合、UseAverage が優先されます。）

UseMoneyManagementStopLoss：自動ストップロス計算を使用する場合には true、使用しない場合には false を指定します。

StopLoss(Pips or %)：ストップロスの設定値です。自動ストップロス計算を使用する場合には % で入力してください。自動ストップロス計算を使用しない場合は pips で入力してください（ストップロスを使用しない場合には 0 を入力してください）

UseMoneyManagementTakeProfit：自動テイクプロフィット計算を使用する場合には true、使用しない場合には false を指定します。

TakeProfit(Pips or %)：使用するテイクプロフィット(利食い値)です。自動テイクプロフィット計算を使用する場合には % で入力してください。自動テイクプロフィット計算を使用しない場合は pips で入力してください（テイクプロフィットを使用しない場合には 0 を入力してください）

UseForceSLTP：他の EA が設定した StopLoss と TakeProfit を上書きする機能です。EA が設定した StopLoss や TakeProfit を変更した

い場合のみ true にします。設定されている StopLoss と TakeProfit を無視して AutoOrderModifyEA Pro のパラメーターに従って変更注文を出します。ただし、買いの場合は変更する StopLoss 値が既に設定されている StopLoss より（価格が）大きい場合のみ機能します。売りの場合は逆に小さい場合のみ機能します。（※狭いストップロスを広くする場合には使えません。広すぎるストップロスを狭くする場合にのみ使えます。）
なお、TakeProfit のみ変更することはできません。その場合には、StopLoss を 1point だけ小さく設定してください。既定値は false です。

UseHighLowStopLoss：HighLowStopLoss モードを使用するかどうかの設定です。使用する場合には true、しない場合には false を設定してください。

HighLowStopLossAdjustment：高値・安値から設定を離すための調整値です。現在価格から離す（高値より高く、安値より安く）設定する場合にはプラス値、現在価格に近づける場合にはマイナス値を入力してください。入力は Pips 単位です。

HighLowStopLossRange：高値・安値を判断する際の足の本数です。初期値の 0 のままだと機能しません。有効な正の整数を入れてください。（現在の足を含めて 20 本とする場合には 20 と入力します）

HighLowStopLossTPMode：HighLowMode と StopLossMode があります。StopLossMode は StopLoss を基準に TakeProfit を設定します。TakeProfit 設定は、後述の HighLowStopLossTPReverceRatio の設定によって変わります。HighLowMode は直近の高値・安値を基準に TakeProfit を設定します。

HighLowStopLossTPAdjustment：HighLowStopLossTPMode が HighLowMode のときのみ有効な調整値です。
HighLowStopLossAdjustment 同様、現在価格から離したり、近づけたりする場合に入力します。

HighLowStopLossTPReverceRatio：HighLowStopLossTPMode が StopLossMode のときのみ有効な StopLoss に対する比率です。TakeProfit を StopLoss と同値(pips)にしたい場合は既定値の 1.0 を使用します。TakeProfit を StopLoss の 1.5 倍にしたい場合には 1.5 と入力してください。

HighLowStopLossTimeFrame：HighLowStopLoss で使用する時間足を指定します。

UseTrailing：トレイリング・ストップを使用するかどうかです。使用する場合には true、しない場合には false です。

TrailingMode：トレイリングモードを設定します。StopLoss/Distance/HighLow から選択してください。

TrailingInputMode：トレイリング開始位置の入力方法です。Pips を選択した場合には pips で、Percent を選択した場合には利益達成率（%）でトレイリング開始位置(TrailingStop) の指定をします。

TrailingStop：トレイリング・ストップを開始する位置です。TrailingInputMode が Pips の場合、指定した pips 分の利益が発生するとトレイリングストップを開始します。Percent の場合には TakeProfit までの達成率が入力した値を超えた場合にトレイリングを開始します。

TrailingDistanceInputMode：トレイリング幅の入力方法です。Pips を選択した場合には pips で、Percent を選択した場合には最大利益を 100% とした場合の利益確保率を指定します。（70 と指定すると 50pips 順行した場合 35pips（50pips×0.7）の位置にストップロスを置きます）

TrailingDistance：トレイル幅です。pips で入力してください。トレイリングモードが Distance の時のみ有効です。

TrailingHighLowTimeFrame：HighLow で使用する時間軸です。トレイリングモードが HighLow の時のみ有効です。使用しない場合には Do Not Use を選択します。（規定値は Do Not Use です）

TrailingHighLowBuffer：HighLow の前後にストップを置く（微調整する）場合に指定します。

TrailingStep：指定した pips 毎にストップロスの位置を変更します（変更注文が大量に発生しないように、余裕を持たせています）

UseBreakEven：ブレイクイーブン機能を使用する場合には true、未使用の場合には false を入力してください。

BreakEvenInputMode：ブレイクイーブン開始位置の入力方法です。BreakEvenInputMode が Pips の場合、指定した pips 分の利益が発生する

とブレイクイーブンを開始します。Percent の場合には TakeProfit までの達成率が入力した値を超えた場合にトレイリングを開始します。

BreakEven : BreakEvenInputMode が Pips の場合、指定した pips 分の利益が発生するとブレイクイーブン処理を開始します。Percent の場合には TakeProfit までの達成率が入力した値を超えた場合にトレイリングを開始します。

BreakEvenProfit : 指定した pips 分の利益を確保するようにストップロス注文を変更します（スプレッドや手数料を加味しても収支トントン（または微益）となる値を入力してください）

UseLossReduction : 損失低減機能を使用する場合には true、未使用の場合には false を入力してください。

LossReduction : 損失低減機能を開始する損失 pips を入力します。

LossReductionStopLoss : 損失低減機能が開始した後に損切りするストップ値を指定します。

以下は「0 のパターン」と同様に設定してください。

使用しないパターンは UsePattern を false にしておいてください。（既定値は false です、使用しない場合には無視していただいて構いません）

設定例

「0 のパターン」はマジックナンバーが 123456 の EA、「1 のパターン」はマジックナンバーが 77777 と 88888 の EA、「2 のパターン」は裁量（マジックナンバー 0）のように設定

マジックナンバーが 123456 の EA は、「0 のパターン」を使用するが、ボラティリティが大きくなった場合は「1 のパターン」を使用するように定義しておく。ボラティリティが大きくなった場合、Pattern0 の UsePattern を false にし Pattern1 の UsePatter を true にするだけで設定の切り替えを行う

AutoOrderModifyEA Pro の機能説明

AutoOrderModifyEA Pro の基本機能についてご説明いたします。※内容は [AutoOrderModifyEA Pro の説明ページ](#)と同様です。

自動で損切り（ストップロス）や利食い（テイクプロフィット）注文を実行

EA が持ったポジション（注文）に対して、損切りや利食い注文を実行します。

マジックナンバーで「どの設定値を使用するか」を制御できますので、「この EA にはこの値を、こちらにはこの値を適用する」といった制御が可能になっています。（AutoOrderModifyEA Pro のみ実装されている機能です）

また、同一（同マジックナンバー）でも、複数パターン登録しておいて状況に応じて「切り替える」という使い方もできます。

EA が稼働している MetaTrader4 上で裁量トレードを行った場合、マジックナンバーは 0 で注文されていますので、マジックナンバー 0 を指定することで裁量トレードも自動制御の対象にできます。

なお、EA が設定した値を上書きする機能ではなく、損切りや利食い設定をしていない EA に対して効力のある機能です。

自動でトレイリング・ストップを実行

トレイリング・ストップ機能の無い EA にトレイリング・ストップの制御を実行します。

損切り・利食い設定同様「この EA にはこの値を、こちらにはこの値を適用する」という制御が可能です。

トレイリングモード

StopLoss 基準 モード

StopLoss を 30pips に設定、TrailingStop を 20pips に指定した場合

→20pips の利益が発生したら、トレイリングを開始する。

→想定どおりに動いて利益が 30pips のとき、損切りは-20pips となる。

トレイル幅指定 モード

トレイル幅(TrailingDistance)を 30pips、TrailingStop を 20pips にした場合

→20pips の利益が発生したら、トレイリングを開始する。開始した瞬間、損切りは-10pips となる。（20pips-30pips）

→想定どおりに動いて利益が 30pips のとき、損切りは 0pips（建値）となる。（30pips-30pips）

今までのトレイリングストップよりも、自由な設定が可能になっています。

例えば、100pips の利益が出たときに開始して、30pips の最低限 30pips の利益を確保する場合は TrailingDistance を 70pips、TrailingStop を 100pips と設定します。こういった設定は今までの方法では不可能でした。

このモードが追加されたことにより、トレーダーの手法に合わせた設定が可能になっています。

HighLow トレイリングモード

「仕掛けた次の日に利益が乗っていたらストップロス（買いの場合には）前日安値（の前後）に設定しなおす。」といったルールの場合に有効な機能です。トレイリングの機能として開発したため、前日安値＞現在のストップロスの場合のみ設定します。（前日安値の方が現在価格に近い場合のみ設定）

さらに次の日に安値が切り上がっていれば再設定されます。

上記の例では日足ですが、一分足～週足まで対応しています。

以下は 1 時間足で設定した例です。



仕掛けた後、利益が乗って1時間足の1本前安値にストップロスが移動しています。（122.8 円前後）



さらに価格が上昇して安値が更新されたため、ストップロスも切り上がりました。（122.93 円）

その後、やや押されていますが再上昇すれば現在の足の安値（123 円前後）にストップロスが移動します。下落してストップロスラインに到達した場合には利益確定となります。

設定方法

TrailingMode に HighLow を指定します。

TrailingHighLowTimeFrame に使用する時間軸（例 日足の場合 D1、1 時間足の場合 H1）を選択してください。

TrailingHighLowBuffer には 1 本前の安値（高値）に対するバッファを設定します。安値より（サポレジとして機能することを期待して）少し遠くに置く場合にはプラスの値を設定します。

例）買いの場合、前日安値が 122 円で TrailingHighLowBuffer が 1.0(pips)の場合、121.99 円にストップを置きます。

売りの場合、前日高値が 122 円で TrailingHighLowBuffer が 1.0(pips)の場合、122.01 円にストップを置きます。

自動ストップロス計算機能を追加しました

「現在の証拠金の何%」という単位でストップロス設定できるようになりました。

新しいパラメーター「UseMoneyManagementStopLoss」を true にすると有効になります。（規定値は false です）
true に設定したあと、StopLoss に%を指定してください。

※ご注意

計算する際にどうしても「為替レート情報」が必要になり内部で「EURUSD」「USDJPY」といった形式でレート情報を取得しています。

しかし、通貨ペアの最後に「.」（ピリオド）が付加されていたり、「_pro」のような文字が付加されている場合は取得することができません。

そのような通貨ペアが設定されている業者では PareSuffix というパラメーターに「.」や「_pro」を設定してください。（頭に文字が付加されている場合には ParePrefix に設定してください）

自動でブレイク・イーブン注文を実行

ブレイク・イーブン注文とは「ここまで利益が出たら注文時の価格の少し上にストップロスを移動しておく」という機能です。

これを用いることで「勝っていたのに逆行して損失になった…」ということが防げます。

トレイリング・ストップも同ような機能ですが、「強い（大きい）トレンドに乗ってできるだけ利益を伸ばしたい」場合にはトレイリング・ストップよりもブレイク・イーブンを用いるほうが良い結果になることがあります。

トレイリングとブレイクイーブンにパーセント入力が可能になりました

今までは、トレイリング開始とブレイクイーブン開始は「指定した Pips 以上の利益が出た場合」という指定のみでしたが、「利益確定 (TakeProfit) の〇パーセントまで利益が増えた場合に開始」という設定が可能となりました。
たとえば、ドル円 100 円で購入 (BUY)、利益確定 (TakeProfit) が 110 円とした場合に「トレイリング開始はパーセント指定で 50」としておくと 105 円まで上昇した時点でトレイリングが開始されます。

【50%でトレイリング開始】

110 円 TakeProfit

105 円 トレイリング開始

100 円 購入価格

ブレイクイーブンも同様です。上記の例に「20%でブレイクイーブン開始」を入れると下記ようになります。

【50%でトレイリング開始】

110 円 TakeProfit

105 円 トレイリング開始

102 円 ブレイクイーブン開始

100 円 購入価格

通貨ペアや状況 (ボラティリティ) を気にせず、一律で適用できるので、色々な EA に適用可能な柔軟性の高い設定方法ではないかと思います。

MagicList にワイルドカード(*)追加

「稼働させている EA 全部を対象にしたいのだけど…沢山稼働していて MagicNumber の指定が面倒くさい」

「Magic が変動するため、Magic が指定できない」

という問題に対応するために追加しました。

MagicList に*を入力すると、「すべてのポジション」を対象にします。

なお、Pattern0 から順番に判定するため、Pattern0 は Magic12345 と 77777、Pattern1 に*と入力した場合には「Pattern0 は 12345 と 77777 で使用」「12345 と 77777 を除くすべてのポジションは Pattern1 を使用する」となります。

さらに、範囲指定も可能になりました。

MagicList の最初に # をつけると範囲指定と認識されます。開始マジックナンバー ~ 終了マジックナンバー という形で入力してください。

例：マジックナンバー 1000 から 1999（2000 は含まない）場合
#1000~1999

※指定した値を「含みます」ので、2000 番を含まない場合には 1999 を指定します。

※負の数で指定したい場合も同様です。大小には気をつけてください（負の数は数字が大きい方を左に書いてください）

Pro から追加された複数ポジション合算機能

複数ポジションを持つことの利点

普段、1 トレードに 3 万通貨ずつトレードしている人が「今回は様子見で 1 万通貨を先にいれて（打診買い／売り）、利益が乗ったので増し玉をする」とか、「損失が発生しているが、方向は間違っていないようなのでナンピン買い（売り）」といったパターンがあります。

中級者以上の慣れている人であれば、「分割して仕掛ける」という手法を使っている人は多いはず。

なぜなら「ベストなタイミングで仕掛けられることは稀」だからです。

例えばですが、「ブレイクアウト直後に 1 つ、そのまま伸びようならそのまま伸ばす（あるいは増し玉）。もし反転したらブレイクしたラインがサポレジに変わったことを確認して残りを入れる。ブレイクアウトがダマシに終わったら判断したら残りは使わず最初の 1 つを損切り」という戦略。

ブレイクアウトがダマシに終わっても損失が少なく済みます。（もちろん、サポレジに変わったことを確認してから全部入れてもいいのですが、それだとブレイクしてドンドン伸びるパターンのときに指を咥えてみていないといけないので…）

複数のポジションをタイミングを変えて仕掛けることで戦略に幅が生まれます。

自信がある場合や、「チャンスだ！」と思ったら一気に全弾発射でも構いませんが、少し微妙な動きをしている場合には分割して仕掛ける方が良い結果になることが少なくありません。

複数ポジションを合算して手仕舞いする

今までの「AutoOrderModifyEA」では複数のポジションを持っても「それぞれ別物」として管理されるため、トレイリング・ストップも損切りも個別に設定されていましたが、複数ポジション合算機能を使うと「複数仕掛けていても 1 つのトレードとして収益を判断する」ために「合算した収益」をベースに「損切り」や「トレイリングストップ」「ブレイクイーブン」を設定することが可能になります。

「合算した状態での損切り位置がどこか」が一目でわかりますし、ある程度利益が乗ったところで「自動ブレイクイーブン機能」が動けば「どこが損益分岐点か」もわかります。

「今まで分割トレードしたことがない」という人も、これを機に試してみたいはいかがでしょうか。

※AutoOrderModifyPro EA の合算機能は「同一通貨ペアの同一方向（買／売）」のみ合算します。異なる通貨ペアや異なる方向の場合には別トレードとして扱います。追加注文を入れると「同一通貨ペアの同一方向のポジション」があればストップロスの位置等を再計算します。

AverageMode 機能追加

AutoOrderModifyEA Pro には SummaryMode（合算機能）があり、「同一通貨ペアで同一方向のトレード」に限って損益を合算する機能がありますが、それを更に拡大して「通貨ペア・方向に限らず、すべて合算して平均する」機能が今回追加した AverageMode です。

例えば GBPUSD と EURUSD のロングポジションを持っている状態で、USD のロングもリスクヘッジのために持っておきたいということで USDJPY のロングポジションを持ったとします。

AverageMode はヘッジで持っているポジションも含めて損益を合算して「損切り・トレイリングストップ・ブレイクイーブン」を行うことができます。

また、両建てでもできるので例えば「ショートを持っていたが、ロングが強くなってきたのでロングポジションを積み増していった利益目標に到達したらまとめて決済」といった使い方もできます。

さらに Magic が異なっても決済できるので、機軸となる EA とヘッジ用の EA を稼働させておいて、まとめて操作・決済することもできます。

AverageMode の設定方法

パラメーター UseAverage を true にすると有効になります。

なお、合算機能(UseSummary)と同時に使用することはできません。（両方設定した場合、Average 機能が優先されます）

複数の EA を同時に操作したい場合

EA1 の Magic ナンバーを 100、EA2 の Magic ナンバーを 200 とした場合、MagicList に"100,200"と入力して UseAverage を true にすると 2 つの EA のポジションを平均して操作します。

AverageMode の注意点

StopLoss に 20pips と設定した場合、「平均で 20pips の損失に到達したら損切り」となります。
1 つのポジションが -30pips で、もう一つが -5pips の場合、平均で -17.5pips ですので損切りされません。

※正確には Lot で平均計算しますので、-30pips が 0.1Lot、-5pips が 0.2Lot の場合には平均 -13.333...pips となります。

ポジション(Lot)を持てば持つほど損失が大きくなる可能性がある、ということです。（同様の理由で利益が大きくなる可能性もあります。）

「1 つのポジションが何 Pips まで損失を許容するか」というのが決まっていないため、逆指値が置けないという問題もあります。

通常の AutoOrderModifyEA Pro では「トレイリングが動いた」「ブレイクイーブンが動いた」ということを「ストップの位置が変わることで視覚的に確認できる」のですが、このモード中は内部で計算しているため見ることはできません。

また、すべて内部計算のため、操作中に MetaTrader4 がエラーで終了してしまったり、パソコンが故障するなどの問題が起きてしまった場合にストップが無い状態で放置されることになる危険性もあります。（もう一つ AutoOrderModifyEA Pro を起動して必要なストップ値を指定しておけば、この問題は回避できます。）

トレイリングの DistanceMode に%指定追加

これまでは Pips 指定のみでしたので、トレイル幅(TrailingDistance)に 20 と指定すると、30pips 順行しても 100pips 順行してもトレイル幅は 20pips でしたが、%指定することで幅を可変にすることができるようになりました。

パーセントで 70 を指定すると 30pips 巡航時には 21pips の利益を確保（ 30×0.7 ）し、100pips 順行した場合には 70pips の利益（ 100×0.7 ）を確保するようにストップロスを設定します。

指定方法は今回新しく追加した TrailingDistanceInputMode に Percent を指定し、TrailingDistance に値（70%の利益を確保したい場合には 70）を入力するだけです。

複数ポジション合算時や AverageMode でも有効です。

損失低減機能

トレイリング・ストップや、ブレイクイーブンなど「利益を確保する」ための機能はありましたが、損失を低減する為の機能はありませんでした。そこで、今回追加した機能が「損失低減機能」です。

買い（ロング）で入った後、ストップロス近くまで価格が下がり再度上昇した場合・ブレイクイーブンが開始されるまで戻れば良いのですがその可能性は高くなく、半分戻せば十分とみて損切りしたい・ということがあると思います。

こういった場合に損失低減機能が利用できます。

例として、初期ストップロスは 100pips、損失低減機能開始は 80pips、損失低減機能での損切り位置は 40pips とします。

この場合の設定は StopLoss に 100、UseLossReduction を true に変更し、LossReduction は 80、LossReductionStopLoss に 40 と入力します。

すると、損失が 80pips になった時点で TakeProfit が 40pips の（損失となる）位置に移動し、ここまで戻れば決済（40pips の損失）となります。

この機能は SummaryMode や AverageMode でも利用できます。

StopLoss と TakeProfit の強制上書き機能

基本的には StopLoss と TakeProfit が設定されていない場合のみ、パラメーターで設定した StopLoss と TakeProfit に変更する・というのが当製品の機能ですが、お客様から「EA が設定した SL/TP を変更したい」というご要望がございましたので、強制上書き機能を実装しました。（通常はパラメーターで変更できるようにするもの・と思っていましたが、意外と変更できない EA も少なくないようです）

パラメーター UseForceSLTP を true にすると、EA などが発注した際に設定した StopLoss や TakeProfit を無視して上書きします。

ただし、買いの場合は変更する StopLoss 値が既に設定されている StopLoss より（価格が）大きい場合のみ機能します。売りの場合は逆に小さい場合のみ機能します。（※狭いストップロスを広くする場合には使えません。広すぎるストップロスを狭くする場合にのみ使えます。）

なお、TakeProfit のみ変更することはできません。（StopLoss が小さいかどうかで変更注文の実行が決まるためです）

その場合には、申し訳ございませんが StopLoss を 1point だけ小さく設定してください。（僅かでも小さい値を設定すれば強制上書き機能が実行されます）

例）TakeProfit10pips、StopLoss20pips の EA で、TakeProfit を 20pips にしたい場合、UseForceSLTP を true、TakeProfit を 20pips、**StopLoss を 19.9pip** に設定

直近の高値・安値を StopLoss および TakeProfit に設定する

直近の高値や安値を StopLoss に設定できます。（買いの場合には安値、売りの場合には高値に設定します）



上図は直近 10 本の高値・安値に StopLoss と TakeProfit を設定した例です。

図のように設定するには UseHighLowStopLoss を true に設定し、HighStopLossRange を 10（10 本の足が対象）、HighLowStopLossTPMode を HighLowMode にします。高値・安値から少し離したい場合には HighLowStopLossAdjustment や HighLowStopLossTPAdjustment に値を指定すると、指定した Pips 分だけ離れた位置に StopLoss や TakeProfit を設定します。

TakeProfit のみ高値・安値を使わず「StopLoss の〇倍」といった設定にすることもできます。



上図は直近 10 本の安値を StopLoss に設定し、それと同値(pips)の TakeProfit を設定した例です。

この設定を使用したい場合には HighLowStopLoss を true に設定し、HighStopLossRange を 10（10 本の足が対象）、HighLowStopLossTPMode を StopLossMode にします。StopLoss を高値・安値から少し離したい場合には HighLowStopLossAdjustment を使用してください。

今回のように StopLoss と同じ値(pips)の TakeProfit を設定したい場合には、HighLowStopLossTPRatio を 1.0 に設定します。もし、1.5 倍の値を設定したい場合には 1.5 と設定してください。

OneClickMagicTrader（付属 EA）

この EA には動作確認用の OneClickMagicTrader が付属しています。OneClickMagicTrader の使い方は同梱の OneClickMagicOrder.pdf をご覧ください。

※ScalTradeAssist とのセットをご購入の場合には OneClickTrader は付属しておりません。ScalTradeAssist は OneClickTrader の機能も持っています。

※AutoOrderModifyEA Pro と OneClickMagicTrader(または ScalTradrAssist)は同一チャートには適用できません。
AutoOrderModifyEA Pro は設置するだけで口座内すべてのポジションを制御しますので適当なチャートを開いて設置してください。

主な使い方

AutoOrderModifyEA Pro をご利用になる場合、まずはデモ口座等での動作確認をオススメしています。

その際に「EA がいつトレードするかわからない」となかなか動作確認ができませんので、「マジックナンバー付きですぐに注文できる EA」としてご利用ください。

この EA を用いて「マジックナンバーを付加して裁量トレードを行う」ことで「AutoOrderModifyEA Pro で制御する」ことも可能です。

注意事項

リアル口座でご利用になる前に、まずはデモ環境等で動作をご確認ください。

リアル口座でご利用になる場合、デモ環境等で確認・設定したパラメーターを「保存」し、リアル口座上で「読み込み」してください。（手入力で誤った設定をしていてリアル口座で想定外の動作をした…という例があります（経験談））

当ツールを利用したことに関連して生ずる損害について、一切責任を負いません。（自己責任でお使いください）

ご購入者は個人使用・業務使用に関わらず自由にご使用いただいてもかまいません。

当ツールの加工・販売等は禁止いたします。

なお、ライセンスは1つのご注文につき5ライセンス（5口座まで）となっております。5口座までは同時に使用できます。それ以上必要な場合には申し訳ございませんが、もう1つご購入ください。

不要なライセンスは削除することができます。ライセンス申請説明書.pdfに削除方法が書いておりますので、削除したい場合にはそちらを御覧ください。

もし不具合等ございましたら下記のメールアドレス、またはお問合せフォームからご連絡ください。

メールアドレス：tradeandsoftware@gmail.com

※サポートメールアドレス support@tasfx.net が「届かない」という事象が頻発しておりますのでサポートメールアドレスをGmailに変更しております。

当方からの返信メールが届かない場合には「迷惑メール」に届いている可能性がありますので、お手数ですがそちらもご確認ください。

お問い合わせフォーム：[FX 研究日記別館-ショップ お問い合わせ](#)

https://tasfx.net/shop/?page_id=81

開発後記

ご購入ありがとうございました。

このツールは「ある人（以下 I 氏）」からご要望いただいた内容を基に作成したものです。

何度もメールをやりとりして機能のご確認やバグ報告をいただきながら、開発していきました。

とても細かくチェックしていただいたので、品質の高い EA が完成したのではないかと思います。

この AutoOrderModifyEAPro がお客様のトレードの一助となりましたら幸いです。

今後も役に立つツールや稼げる EA などを開発していく予定であります。

使い方の詳細は当サイトに記載しておりますので、そちらもご覧ください。

[MT4のEAが持ったポジションを自動制御（損切り、利食い、トレイリングストップ等）するツール「AutoOrderModifyEAPro」公開！](#)

以上、今後もしよろしくお願ひ申し上げます。